

An illustration on a dark green background. At the top right, a yellow hand holds an orange watering can, spraying water. At the top left, a pink hand holds a glowing orange sun. At the bottom right, a blue hand uses a purple trowel to dig in the soil. The central text '田原本町' is white with small green plants growing from the characters. The bottom of the image shows a light green field and a brown soil layer.

第5次総合計画

田原本町

わたしが関わり、みんなで育む

ちょうどいい幸福田園都市

🌱 ごあいさつ 🌱

田原本町には、利便性や経済成長といった都市的な活力と、豊かな田園風景や唐古・鍵遺跡に代表される重層的な彩りある歴史文化、地域コミュニティといった田園的なゆとりが「ちょうどよく」息づいています。

今我々に求められているのは、この「ちょうどよさ」をより高い次元へと引き上げることであり、このたび策定した第5次総合計画では、住民協議会（自分ごと化会議）における対話などを踏まえ、新たな将来像を「わたしが関わり、みんなで育む『ちょうどいい幸福田園都市・田原本』」と決めました。いまを生きる私たちの幸せのみならず、まだ見ぬ未来を生きる人々の幸せを見据え、「人が繋がり居場所と出番と活力のあるまち」「安心安全と多様な文化価値を感じられるまち」「未来にツケを残さない持続可能なまち」という3つの柱を据え、都市の活力と田園のゆとりが調和する「ちょうどいい幸福田園都市」の実現を目指します。

具体のまちづくりに際しては、行政や企業、住民の皆様などあらゆる主体がともに責任を分かち合い、地域を創り上げる「共創自治」、及び、限られた資源を最適化し戦略的にシュリンク（縮小）しつつ質の向上（一人ひとりの幸せの向上）を目指す「縮充（しゅくじゅう）」の発想を大切にします。策定にあたり開催した「住民協議会（自分ごと化会議）」では、多くの方がまちの未来を「自分ごと」として真剣に語り合いました。この対話と熱意こそが、本計画の確かな土台です。

いまを生きる私たちの豊かな日常と確かな幸せを、将来世代へとしっかりと引き継ぎ、「暮らし続けたい」と心から思える田原本を、皆様とともに創り上げてまいります。結びに、本計画の策定に参画いただいた全ての皆様に、深く感謝申し上げます。

令和9年3月

田原本町長 高江啓史



目次

ごあいさつ

基本構想

わたしたちの総合計画
まちの将来像
基本目標と政策
総合計画の全体像

基本計画

基本計画の見方

誰もが生きがいを持ち、「お互いさま」の心で支えあう心豊かなまち

支えあい自分らしく暮らせる地域づくり / 健康寿命の延伸と医療体制の充実
誰もが安心して生活できる地域づくり / 共生社会の推進

歴史と誇りをつなぎ、未来を拓く人を育むまち

子ども・子育ての希望が叶うまちづくり / 豊かな個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育 / 地域の学びを支える環境の整備

暮らしを守り、自然と調和する持続可能なまち

災害に強く安全に暮らせるまちづくり / 快適に住み続けられるまちづくり
環境に優しいまちづくり

地域の魅力を高め、豊かさを生み出すまち

持続可能な農業支援 / 地域産業の活性化と創業支援
地域の魅力の向上

住民と共に豊かな未来を目指す共創のまち

住民参画と公民連携による共創の推進 / 行財政改革の推進

資料

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 提案書 | 4 計画策定までのスケジュール |
| 2 答申書 | 5 町民憲章・クレジットなど |
| 3 審議会委員一覧 | |

基本構想



わたしたちの総合計画

総合計画とは

田原本町では、行政運営の最上位指針としてこれまで4次にわたり総合計画を策定してきました。第5次となる本計画は、本格的な人口減少社会を見据え、向こう10年間の目指すべき将来像を定めるものです。その実現にあたっては、まちの規模の拡大を追うのではなく、暮らしの質や豊かさを高める「縮充」の発想を基本姿勢とし、行政と住民、事業者などの多様な主体が共に地域を創り上げる「共創自治」を推進するための確かな道しるべとなります。

計画の構成



計画の期間

2027

2036

◆ 基本構想

◆ 基本計画

◆ 実施計画

※本計画は10年間の継続的な計画とします。社会情勢の変化や町を取り巻く課題に迅速に対応するため、必要に応じて随時見直す柔軟な運用とします。

策定する上で大事にしたこと

★ みんなのための総合計画づくり

まちづくりは、行政の中だけで完結するものではありません。本計画は、住民や事業者、田原本に関わるすべての人と共に創る「みんなのための総合計画」です。住民の皆さんがまちの未来を自分ごととして捉えると同時に、行政職員一人ひとりも自分ごととして地域課題に正面から向き合い、計画を定めました。行政と住民が互いに責任を分かち合い、共に知恵を出し合ってまちを創り上げる「共創自治」の実現を大切にしています。

★ 住民協議会の実施

「みんなのための総合計画」を形にするため、計画策定のプロセスに住民の皆さんに参加いただく「住民協議会（自分ごと化会議）」を全4回にわたり実施しました。無作為抽出で集まった幅広い世代の方々が、田原本の現状や課題、目指すべき未来について自由に意見を交わし、「自分ごと」として熱意ある議論を重ねていただきました。ここで寄せられた多様な声こそが、本計画の方向性を定める確かな土台となっています。



かせぐ地域づくり分科会の様子

策定のプロセス



本計画は、住民の皆さんの声を広く反映させるため、丁寧なプロセスを経て策定しました。まず、住民の率直な想いを知るためのアンケートを実施し、「住民協議会（自分ごと化会議）」を全4回開催して議論を深めました。そこで得られた多様な意見を基に、総合計画策定委員会や基本構想審議会において何度も検討を重ねてきました。さらにパブリックコメント（意見募集）を実施し、基本構想については議会の議決を経て本計画を策定しました。

★ 総合計画策定委員会とは

庁内の職員で構成した組織です。第4次総合計画の振り返りや、第5次総合計画の政策・施策の方向性を検討し、実現可能な計画案をつくります。

★ 基本構想審議会とは

外部の有識者と、公募によって選ばれた町民が参加する組織です。基本構想の案について議論、意見を出し合います。

わたしが関わり、みんなで育む 「ちょうどいい幸福田園都市・田原本」

まちの将来像を支える3つの柱



人が繋がり 居場所と出番と活力のあるまち

年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もがこのまちに「自分の居場所」と「活躍できる出番」を持ち、いきいきとした活力を生み出せる環境を整えます。また、「お互いさま」の心で支えあう地域のコミュニティを再構築し、一人ひとりが自分らしく、生きがいと幸せを感じて暮らし続けられる心豊かなまちを創り上げます。



安心安全と 多様な文化価値を感じられるまち

激甚化する自然災害や日々の暮らしに潜む危険に対し、施設の整備（ハード）と地域防災の仕組みづくり（ソフト）の両面から強靱な防災・減災対策を推進し、誰もが「当たり前の安心」を実感できる環境を整備します。また、妊娠・出産から子育て、高齢期に至るまでの切れ目のない支援で健やかな日常を守り抜くとともに、唐古・鍵遺跡をはじめとする多様な歴史や文化の価値をまちの誇りとして磨き上げ、彩りある暮らしを支えます。



未来にツケを残さない 持続可能なまち

人口減少という現実から目を背けず、まちの「規模の拡大」を追うのではなく、限られた資源の中で暮らしの「質」を徹底して高める「縮充」の視点でまちづくりを進めます。将来の世代へ過度な負担（ツケ）を残さないよう、公共施設の最適化やデジタル技術（DX）による効率的な行財政経営を進めるとともに、豊かな自然環境と調和した美しい田原本を次の世代へ確実に引き継ぎます。

基本目標と政策



基本目標は、本計画が目指すまちの将来像と「3つの柱」を実現するため、今後10年間で町が重点的に取り組む5つの大きなテーマ（分野）を定めたものです。

健康・福祉、子育て・教育、防災・環境、農業・商工業、そして行財政運営の各分野において、行政と住民の皆さんが現状と課題を「自分ごと」として共有し、それぞれの強みを活かした「共創」の力でまちの質を高めていくための、確かな道しるべになります。

基本目標

1



誰もが生きがいを持ち、「お互いさま」の心で支えあう心豊かなまち

誰もが住み慣れた地域で自分らしく、生きがいを持って暮らし続けられるまちを目指します。

医療の充実や健康寿命を延ばすとともに、高齢者や障がい者の暮らしを地域全体で支援します。

また、多様性と人権を尊重し、住民同士が「お互いさま」の心で支えあう温かい地域のコミュニティを育むことで、すべての人が孤立することなく、安心して歳を重ねられる誰一人取り残さない福祉環境を創り上げます。

基本目標

2



歴史と誇りをつなぎ、未来を拓く人を育むまち

田原本の豊かな歴史と文化への誇りを次の世代へ継承し、未来を担う人づくりを進めます。

妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます。

また、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの豊かな個性を伸ばし、未来を切り拓く力を育むとともに、誰もが生涯を通じて学び、スポーツや文化活動に親しむことができる、心豊かな共育のまちを実現します。

基本目標

3



暮らしを守り、自然と調和する持続可能なまち

激甚化する自然災害に備え、防災・減災対策を強化して住民の命と暮らしを守り抜きます。

また、誰もが快適に移動できる、地域に即した持続可能な交通ネットワークを確保するとともに、豊かな自然環境の保全と資源の循環を進めます。

人口減少下においても生活基盤を適切に維持し、自然と調和した快適で安全な都市空間を次の世代に引き継ぎます。

基本目標

4



地域の魅力を高め、豊かさを生み出すまち

田原本の豊かな風土を支える農業を「稼ぐ農業」へと進化させ、農地の保全と持続可能な経営を支援します。また、商工業の活性化や創業支援により、地域経済の好循環を生み出します。

さらに、歴史・文化資源を活かした観光振興や「田原本ブランド」の戦略的な発信を行い、地域の価値を高めることで、新たな人の流れを生み、移住・定住の促進と住まいの確保へとつなげます。

基本目標

5



住民と共に豊かな未来を目指す共創のまち

本格的な人口減少を見据え、デジタル技術（DX）を活用した行政サービスの変革や、公共施設の適正な管理・更新を進め、持続可能な行財政運営を確立します。

併せて、行政と住民、民間企業などが対等な立場で課題を共有し、公民連携のもとで共にまちづくりを進める「共創」を推進します。

時代の変化に柔軟に対応できるよう組織力と人材の育成を図り、未来へつながる自立した行政経営の基盤を構築します。



総合計画の全体像

第5次総合計画 基本目標・政策一覧

★ わたしに関わり、みんなで育む
「ちょうどいい幸福田園都市・田原本」★

人が繋がり居場所と
出番と活力のあるまち

安心安全と
多様な文化価値を感じられるまち

未来にツケを残さない
持続可能なまち

基本目標 1

誰もが生きがいを持ち、「お互いさま」の心で支えあう心豊かなまち

政策1-1

支えあい
自分らしく暮らせる
地域づくり

政策1-2

健康寿命の延伸と
医療体制の充実

政策1-3

誰もが安心して
生活できる
地域づくり

政策1-4

共生社会の推進

基本目標 2

歴史と誇りをつなぎ、未来を拓く人を育むまち

政策2-1

子ども・子育ての
希望が叶う
まちづくり

政策2-2

豊かな個性を伸ばし、
未来を切り拓く力を
育む教育の充実

政策2-3

地域の学びを支える
環境の整備



基本目標 3

暮らしを守り、自然と調和する持続可能なまち

政策3-1

災害に強く
安全に暮らせる
まちづくり

政策3-2

快適に住み続けられる
まちづくり

政策3-3

環境に優しい
まちづくり

基本目標 4

地域の魅力を高め、豊かさを生み出すまち

政策4-1

持続可能な
農業支援

政策4-2

地域産業の活性化と
創業支援

政策4-3

地域の魅力の向上

基本目標 5

住民と共に豊かな未来を目指す共創のまち

政策5-1

住民参画と公民連携による
共創の推進

政策5-2

行財政改革の推進

